



## 平成24年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年9月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ザッパラス

コード番号 3770 URL <http://www.zappallas.com>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 川嶋 真理

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部長

(氏名) 斉藤 征晃

TEL 03-5475-7133

四半期報告書提出予定日 平成23年9月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年4月期第1四半期の連結業績(平成23年5月1日～平成23年7月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第1四半期	2,846	△0.3	766	△3.5	768	△3.8	454	△3.9
23年4月期第1四半期	2,855	2.4	794	3.9	798	4.6	472	5.5

(注) 包括利益 24年4月期第1四半期 454百万円 (△4.0%) 23年4月期第1四半期 473百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年4月期第1四半期	3,651.76	3,590.89
23年4月期第1四半期	3,819.96	3,742.63

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
24年4月期第1四半期	8,255		6,865		82.4	
23年4月期	8,774		6,927		78.4	

(参考) 自己資本 24年4月期第1四半期 6,806百万円 23年4月期 6,875百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年4月期	—	0.00	—	4,200.00	4,200.00
24年4月期	—				
24年4月期(予想)		0.00	—	4,200.00	4,200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年4月期の連結業績予想(平成23年5月1日～平成24年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	11,200 ～12,600	△5.2 ～6.7	2,550 ～3,080	△17.0 ～0.2	2,550 ～3,080	△17.5 ～△0.3	1,510 ～1,830	△7.2 ～12.5	12,135.82 ～14,707.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年4月期1Q	134,110 株	23年4月期	134,110 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

24年4月期1Q	9,685 株	23年4月期	9,685 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年4月期1Q	124,425 株	23年4月期1Q	123,803 株
----------	-----------	----------	-----------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(2) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) セグメント情報等 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益において一部改善が見られるものの、長期化する円高や、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響による経済活動の停滞や電力供給問題などにより先行き不透明感を拭えない状況が続いております。

モバイルビジネスを取り巻く環境につきましては、モバイルコンテンツ市場とモバイルコマース市場をあわせたモバイルコンテンツ関連市場が2010年度に1兆6,550億円(前年同期比109%)(注1)となり、依然としてマーケットは拡大しています。また、2010年度のスマートフォン市場は123億円(前年同期比351%)(注1)となっており、今後はスマートフォン(注2)におけるモバイルコンテンツ関連市場の拡大が予想されるなど、モバイルコンテンツ関連市場を取り巻く環境は大きく変化していく可能性が見込まれています。

このような環境の中、当社グループでは更なる収益力の創造及び新たな成長事業の確立を目指し、一層の企業収益力の基盤強化を当連結会計年度のテーマとして取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,846,436千円(前年同期比0.3%減)、営業利益766,418千円(前年同期比3.5%減)、経常利益768,632千円(前年同期比3.8%減)、四半期純利益454,370千円(前年同期比3.9%減)となりました。

(注1) モバイル・コンテンツ・フォーラムの調査に拠っております。

(注2) iPhone やAndroid に代表される、パソコンと同等の機能を持ち合わせた多機能携帯端末のこと。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

#### ①コンテンツ事業

コンテンツ事業につきましては、フィーチャーフォン(注3)市場での収益力の向上及びシェア拡大と、台頭するスマートフォン市場への対応を課題として取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、携帯電話向け公式コンテンツでは12サイト、PCコンテンツでは42サイトの新規投入を行い、当連結会計年度末現在における携帯電話向け公式コンテンツは470サイトとなり、月額課金会員数は202万人となりました。

また、平成23年6月よりスマートフォンでも利用可能な占いコンテンツを紹介するアプリ「cocoloni(ココロニ) 占いコレクション」のサービスを開始し、当社が提供するフィーチャーフォン向け公式占いコンテンツを順次スマートフォン対応し、提供しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,103,962千円(前年同期比5.0%減)、セグメント利益は917,015千円(前年同期比5.9%減)となりました。

(注3) フィーチャーフォンとは、通話機能を主体とし、その他にカメラやワンセグをはじめとする機能を搭載している従来型の携帯電話のこと。

#### ②コマース関連事業

当社グループのコマース関連事業は、モバイルコマース事業と携帯電話販売事業の2つに大きく分けられます。モバイルコマース事業につきましては、スマートフォンへの対応と利益率の向上を課題として取り組み、効率的な広告出稿等を実施いたしました。また、携帯電話販売事業を行っている子会社の株式会社ジープラスにつきましては、引き続き収益及び利益の拡大に向けて努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は694,564千円(前年同期比19.4%増)、セグメント利益は40,317千円(前年同期比32.0%増)となりました。

#### ③その他の事業

その他の事業につきましては、主に、開発受託と「Y! Suica」や「サクッとシネマサーチ」等のサイト運営を他社と共同で行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は47,909千円(前年同期比18.0%減)、セグメント利益は、開発受託案件を受けたことにより26,841千円(前年同期比258.7%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して518,252千円減少し、8,255,800千円となりました。その主な要因は、配当金や法人税等の支払による現金及び預金の減少額326,061千円、売掛金の減少額148,862千円によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して455,879千円減少し、1,390,326千円となりました。その主な要因は、未払法人税等の減少額341,711千円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して62,372千円減少し、6,865,473千円となりました。その主な要因は、新株予約権の増加額5,451千円があったものの、配当金の支払等による利益剰余金の減少額68,214千円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年4月期の業績予想につきましては、概ね当初予想どおり順調に推移しており、平成23年6月8日に公表した業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(1) 株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、これによる影響はありません。

(2) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,083,929	3,757,868
売掛金	2,412,631	2,263,768
有価証券	603,226	503,303
商品及び製品	45,614	69,664
仕掛品	—	3,479
その他	154,780	154,853
貸倒引当金	△36,329	△35,390
流動資産合計	7,263,852	6,717,547
固定資産		
有形固定資産	136,783	130,492
無形固定資産		
ソフトウェア	244,301	248,111
のれん	49,269	48,429
その他	37,567	66,945
無形固定資産合計	331,138	363,487
投資その他の資産		
投資有価証券	629,095	629,252
その他	413,182	415,020
投資その他の資産合計	1,042,278	1,044,273
固定資産合計	1,510,200	1,538,253
資産合計	8,774,052	8,255,800
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	486,879	455,025
未払金	537,401	465,838
未払法人税等	645,625	303,913
賞与引当金	—	1,305
その他	176,299	164,243
流動負債合計	1,846,206	1,390,326
負債合計	1,846,206	1,390,326
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,452,343	1,452,343
資本剰余金	1,377,718	1,377,718
利益剰余金	5,542,983	5,474,768
自己株式	△1,495,870	△1,495,870
株主資本合計	6,877,175	6,808,960
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,720	△2,295
その他の包括利益累計額合計	△1,720	△2,295
新株予約権	—	5,451
少数株主持分	52,391	53,356
純資産合計	6,927,846	6,865,473
負債純資産合計	8,774,052	8,255,800

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日)
売上高	2,855,979	2,846,436
売上原価	932,223	945,865
売上総利益	1,923,755	1,900,571
販売費及び一般管理費	1,129,515	1,134,153
営業利益	794,239	766,418
営業外収益		
受取利息	408	245
持分法による投資利益	3,380	1,127
受取技術料	645	615
貸倒引当金戻入額	—	939
その他	856	13
営業外収益合計	5,291	2,941
営業外費用		
支払利息	721	663
その他	207	63
営業外費用合計	928	726
経常利益	798,602	768,632
特別損失		
固定資産除売却損	—	813
特別損失合計	—	813
税金等調整前四半期純利益	798,602	767,819
法人税、住民税及び事業税	250,850	297,259
法人税等調整額	73,880	15,223
法人税等合計	324,730	312,483
少数株主損益調整前四半期純利益	473,871	455,335
少数株主利益	949	965
四半期純利益	472,922	454,370

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	473,871	455,335
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△575
その他の包括利益合計	—	△575
四半期包括利益	473,871	454,760
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	472,922	453,794
少数株主に係る四半期包括利益	949	965

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年5月1日 至平成22年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コンテンツ 事業	コマース 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,215,620	581,936	2,797,556	58,422	2,855,979	—	2,855,979
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,215,620	581,936	2,797,556	58,422	2,855,979	—	2,855,979
セグメント利益	974,865	30,534	1,005,399	7,482	1,012,881	(218,642)	794,239

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託業務及び広告事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年5月1日 至平成23年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コンテンツ 事業	コマース 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,103,962	694,564	2,798,527	47,909	2,846,436	—	2,846,436
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,103,962	694,564	2,798,527	47,909	2,846,436	—	2,846,436
セグメント利益	917,015	40,317	957,333	26,841	984,174	(217,756)	766,418

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託業務及び広告事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。